つちだの観戦レポート
三菱日立パワーシステムズ横浜戦
頑張れピッチングスタッフ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
安打	0	1	0	2	2	0	0	2	0	7
明治安田	0	1	0	1	1	0	0	1	0	4
三菱日立 PS	0	0	2	0	1	0	0	2	X	5
安打	3	0	4	1	1	0	0	3		12

バッテリー
大久保３回・重信１・２／３回・鈴木３回・岡・日野１／３　～尾嶋

久し振りに観戦。私事で恐縮ですが４月１日まで毎週１回、８週間抗がん剤治療の為観戦できず。今日久し振りに観戦できました。快気祝いに４番加藤選手が２回表先頭打者でいきなりレフトスタンドへソロ・ホームランありがとう。癌の病との戦いに良薬を投薬してくれた。

さて、今日の試合の先発大久保投手は４回までにツーラン本塁打を含む７安打で２点を献上。しかし打たれながらもバックが良く守った。この間特に尾嶋捕手は２度盗塁を阻止し投手を助けた。

４回２死から４番加藤選手がセンター前クリーンヒットしてすぐ２盗塁、５番ＤＨ小野寺選手は粘って四球、２死１・２塁から６番本田選手が初球エンドランを成功させ、センター前にタイムリーで２対２の同点とする。４回重信投手に継投。四球とヒットで１死１・２塁を９番打者をセカンドゴロのダブルプレーで抑える。５回先頭打者ストレート四球、２死を取るも鈴木投手に継投。鈴木投手も１ボール２ストライクから４球目をレフト線へタイムリー２塁打で３点目を献上（２対3)。８回加藤・小野寺選手の連打で無死１・２塁、６番本田選手はキッチリとバンドで１死３・２塁、７番尾嶋選手が初球見事なスクイズで４対３と１点リード。８回裏３四球２安打され２点取られ逆転を許す（４番手の新人岡投手が２アウト満塁から連続押し出しの四球で万事休す)。観戦レポートを記載してきて個人を責めたことは一度もなかったが岡投手に大いなる反省を求める。打たれるのはいたしかたがないが、２打者に対して１ストライク以外すべて完全なボールの２四球でうち１押し出し。投手の使命はコントロールです。明日からの練習で今日の投球を反省して頑張って欲しい。君はまだ若い次のチャンスを生かして下さい。

投手陣の諸君、あなた方の頑張りが都市対抗東京都代表の鍵と自覚してください。
打撃陣はここ１番の時集中力を増してチャンスメークを心掛けてください。
投手陣・打撃陣も１点の重みを肌で感じ泥臭い野球を目指し、今年こそ新生明治安田の力強さをファン皆さんに見せてください。
林監督が三塁ベースコーチで陣頭指揮を執っている姿は心強い。何が何でも都市対抗出場を勝取る意欲の姿と感じた。選手諸君、監督の意図することを理解して何としてもドームへ行こう。
代表決定二次予選まであと１ケ月、５月２日からのベーブ―ルース杯は二次予選への前哨戦だ、特に投手陣に頑張ってください。

２０１４年４月２４日
土田唯雄

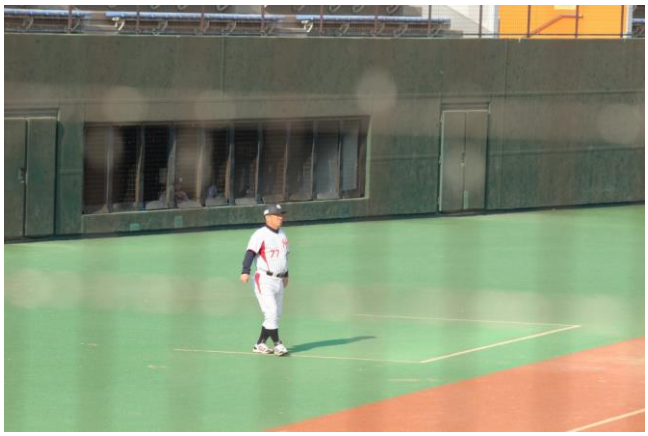
加藤選手２回レフトスタンドへソロホームラン

ホームランで先取点

５回森川選手レフト線へ２塁打

２塁へ森川選手

腰痛を直して久しぶり打撃センター前ヒット



林監督３塁コーチで陣頭指揮

先発大久保投手

２番手重信投手

３番手鈴木投手

４番手岡投手（新人）